

第1学年	技術 科	使用教材	教科書(「技術・課程 技術分野」開隆堂)	技術科担当 児玉 修也
------	------	------	----------------------	----------------

<学習の目標>

生活に必要な基礎知識と技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

授業のポイント	- 生活の中での体験や、理解したことを考え、発言する。 - 作品を作り上げる。安全に気をつけ、見通しを持ちながら作業を進める。
家庭学習について	- My 学を通して、自分で考え工夫し、想像力を高める。 - 学習したことを自分の生活の中で、生かせそうなことを見つけて実践しましょう。
テストについて	テスト勉強をしっかりとしましょう。授業での内容やテストについてのポイントをしっかりと学習しましょう。1学期末・2学期末テストを行います。

評価の観点	判断基準について
技術・家庭に関心を持ち、生活をよりよくするために、進んで取り組むことができる。	授業中の様子・授業での発言・提出物・定期テスト課題に対する取り組みの姿勢
生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して、工夫し創造することができる。	授業中の様子・授業での発言・定期テスト課題に対する取り組みの姿勢
生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	授業中の様子・課題の進捗状況・定期テスト課題に対する取り組みの姿勢
基礎的・基本的な知識を身につけ、生活と技術の関わりについて理解している。	授業中の様子・授業での発言・定期テスト課題に対する取り組みの姿勢

<年間授業計画>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
4 5 6 7	1 わたしたちの生活と生物育成 2 生物の育成 3 作物の栽培	- 生物育成の意味とその目的、わたしたちの生活における役割を知る。 - 人間の生活に有効利用されている生物育成のサイクルとその技術を知ることができる。 - 作物と地域による栽培時期のちがいを知り、栽培に見通しをもつことができる。	教科書 水耕栽培
9 10 11	4 生物育成に関する技術の評価・活用 1 情報とわたしたちの生活 2 情報通信ネットワークの利用 3 情報通信ネットワークと情報セキュリティ 4 情報モラル と知的財産	- 生物育成に関する技術が、社会や環境に果たしている役割と影響について理解を深めることができる。 - 生活や社会を向上させている、情報に関する技術に気づかせる。 - コンピュータを構成する要素の種類や役割を知る。 - 情報通信ネットワーク利用時の危険性について知る。 - 情報を扱う際のルールとマナーなどのモラルの必要性を知り、情報の適切な利用について考える。 - コンピュータが情報を処理する仕組みを知る。	パソコン
12 1 2 3	5 コンピュータと情報処理 6 デジタル作品の設計製作 7 プログラムによる計測・制御 8 情報に関する技術の評価・活用	- 生活の中で利用されているメディアの特徴と利用方法を知る。 - 身の回りの機器が、コンピュータによって計測・制御されていることに気づかせる。 - 情報に関する技術が、社会・環境に果たしている役割と影響について理解を深める。	コロックルによる計測制御

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

自ら考え、発信し、他者の考えや意見を取り入れながら課題に取り組む環境を整え、新たな学びや課題へと発展させる。